

学びの広場 2016

学校くボランティアの紹介く 第1回

学校教育を支援している、ボランティアさんの活動を、3回にわたりご紹介いたします。今月は、寄小学校和寄中学校です。

【問い合わせ】教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

読書教育 心を育む「ぱたぽん」さんの活動 (寄小學校)



↑寄小學校の図書室
←読み聞かせの風景

「ぱたぽん」さんが発足し、10年が経過しました。はじめは、少人数でスタートしましたが、現在は、10名のボランティアさんが、「読み聞かせ」と「修理・整備」など二班に分かれ活動しています。読み聞かせは、各学年月1回、2人体制で行います。会議などの話し合いは、月1回行い、その後に修理や整理、環境づくり、イベントの準備などをします。

「ぱたぽん」の愛称は、絵本の登場人物が飼っている羊の名前。世界中の人から愛読されているところから、このボランティアが子どもたちにいつまでも愛されることを願い、名付けた名前だそうです。

「ぱたぽん」の活動

- 読書旬間 年3回
- ・あじさい 読書旬間
- ・もみじ 読書旬間
- ・きさらぎ 読書旬間
- 新刊紹介 校舎内に掲示
- 図書室の整理
- ・季節の飾りつけ
- ・修理
- 読み聞かせ 朝8:20



月1回の会議



特技を生かして
読書旬間の準備

卓球部 コーチはボランティアさん (寄中學校)



←指導をする松 downs さん (右)

↑卓球部活動

松 downs さん(写真右)にインタビュー!

「最初は、小学生を対象に卓球教室を始めました。何年かたつと寄中學校の保護者の方から中学生にも指導してほしいと声をかけられ、寄中學校の卓球部の指導をすることになりました。指導するたびに、生徒さんが上達しているの毎回それが楽しみです。」とうれしそうに話してくださる姿が印象的でした。



部長Yさん
卓球は楽しい。上手になっていく実感がある。高校に行っても卓球を続けたい。松 downs コーチは優しく楽しい。



部長Nさん
松 downs コーチは、丁寧で優しく指導してくれる。卓球は、楽しい。指導を受け、もっと上手になりたい。(右は顧問の栗田先生)

寄中學校の卓球部の技術指導は、寄にお住まいの松 downs さんにご協力をいただいています。松 downs さんは、卓球歴44年、寄中學校に20年間通われていらっしゃいます。寄中學校卓球部はこれまで女子団体の部で、関東大会出場を果たしたこともあるそうです。練習では、卓球の楽しさを毎回語りながら、ラリーがつ

ながるコツや具体的な動きなど、技術面の指導をされています。現在は、少ない部員の中で、生徒一人ひとりに向き合った、個を大切に指導をされています。顧問の栗田先生と共に、「継続」することの大切さ、上達する喜び、達成感を味わえる指導をされています。

◆学校ボランティアの一例

学校ボランティアは、学校の教育活動や、環境教育のために支援をしていただく活動です。一例を紹介します。

- 学習支援活動(読み聞かせ 書道 短歌 そろばん 地域歴史 木工 ミシン 調理実習補助 水泳 楽器指導 合唱 昔の遊び 校外指導 パソコン 他)
- 部活動指導 (部活動の補助 練習試合引率補助 他)
- 環境整備 (花壇の整備 樹木の剪定 図書の本棚 校舎の補修)
- 登下校安全確保 (通学路の安全指導 パトロール) 等

まだいろいろあります。専門的な技術がある、なしにかかわらず、ボランティア活動をおして、自分も子どもも共に輝くのではないのでしょうか。

★学校ボランティアに興味のある方は、教育課生涯学習係へご相談ください。

松田の文化財探訪



《矢倉沢往還8》
文化財保護委員
松田 隆

「河内・沢尻コース」その2
この「河内・沢尻コース」は、信仰の旅・物資運搬・軍事等の道として、明治時代に大きく発展・繁栄した「近代の道」と言えます。その根拠は、明治十五年(一八八二)に陸軍が作成した二万分の一の地図「迅速測図」(写真参照)に矢倉沢街道と明記され、縮尺に合わない程の広い道幅で描かれていた(迅速測図 明治十五年)

往還コース」の中に、記載されていないことに対し異論を唱えられましたが、核冊子の作成目的は、巻頭文からも解りますように、町の歴史探訪と健康づくりを意識し、最大八キロメートル程度の「ウォーキング」を意図したものです。記述の「神山・町屋」と「松田惣領・庶子境道の両コースの設定は、「一筆書き」のようにして紹介してあります。従って、今回の「矢倉沢往還三コース」の内容を確認していただけたら幸いです。

また、この矢倉沢往還の一部には、「足柄道、富士道、大田道、小田原道」等があり、解りづらいと言ふ読者のご感想につきましても、当時の道標や道の名は、「行先を唱えることが多い」(歴史家・児玉幸多氏)と言われ、さらに、「風土記稿」に「富士道と唱ふるは矢倉沢なり」とあります。

重要視されていた証と推測します。沢尻の道標については、「左ふじ道、右大也万(大山)道」ですが、秩父・板東の巡礼供養碑で、先人の調査によりますと、□□(※)解読不明(三歳末一月と読めることから、宝暦一三年(一七六三)とされています。

「歩いてみよう松田の歴史」の一読者から、このコースが「矢倉沢」

このように、種々の道・呼称があり、重層的に呼ばれることは、往古から交通の要衝で『歴史のある道』の一端を示すものと思料致しますが、いかがでしょうか。

※信仰の旅とは、富士山、大山、最乗寺等への参詣道です。

※物資運搬とは、「豆・駿・甲・相・武」と言われ伊豆、静岡(三島・沼津) 山梨、神奈川、東京です。